

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年4月4日（木）

2 確認箇所

- ・免震重要棟集中監視室
- ・事務本館東側(処理水バッファタンク設置場所付近)

3 確認項目

- (1) 1号機格納容器内部調査アクセスルート構築作業の準備として実施する格納容器減圧操作の状況
- (2) 処理水バッファタンクの取替工事の状況

4 確認結果の概要

- (1) 1号機格納容器内部調査アクセスルート構築作業の準備として実施する格納容器減圧操作の状況について

1号機格納容器内部調査アクセスルート構築に際して実施する孔開け作業中の放射性物質放リスクの低減を目的として、1号機格納容器圧力を大気圧と同程度まで減圧する操作(手順1^{*})が実施されたことから、操作前後のプラントパラメータ及び実施状況を確認した。

- ・減圧操作は排気ポンプ出口側の電動弁を免震重要棟集中監視室の操作盤から遠隔操作をすることにより実施された。
- ・原子炉格納容器ガス管理システム排気流量は20.7 m³/hから24.7 m³/hに変更された。
- ・操作開始前後で各プラントパラメータに異常な値は確認されなかった。

※減圧操作は手順1と手順2で構成されており、手順1は原子炉格納容器ガス管理システム排気流量を1回の操作当たり5 m³/h以内を目安に増加させることにより格納容器の減圧を行う。操作後2日程度、プラントパラメータに異常がないことを確認する。手順2は手順1完了後、原子炉格納容器ガス管理システム排気流量を1回の操作当たり3 m³/h以内を目安に増加させ、格納容器の減圧を行う。手順1と同様にプラントパラメータに異常がないことを確認する。

- (2) 処理水バッファタンクの取替工事の状況について

漏えい防止対策として、高台エリアに設置されているフランジ型の処理水バッファタンクを溶接型タンクへ取替える工事が行われていることから、工事の進捗状況を確認した。(前回確認：平成30年12月21日)

- ・タンク周囲の堰の設置工事は完了していた。(写真1)
- ・前回確認時はタンク天板に降った雨水を排水するための配管の敷設作業が行われていたが、今回確認時は完成しており、堰外に雨水が排水されるようになっていた。(写真2)

- ・現場確認時は配管の耐圧試験準備としてろ過水の準備が行われていた。
(写真3)



(写真1-1)
前回撮影 (平成30年12月21日)



(写真1-2)
今回撮影 (平成31年4月4日)



(写真2-1)
(写真1-1)の下部を拡大。設置中の雨水排水管
前回撮影 (平成30年12月21日)



(写真2-2)
完成した雨水排水管。タンク天板に降った雨水は堰外へ排水される。
今回撮影 (平成31年4月4日)



(写真3)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。